

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	無期限
主投資対象	親投資信託である「しんきんアジアETF株式マザーファンド」を主要投資対象とします。
運用方針	<p>①投資にあたっては、主として「しんきんアジアETF株式マザーファンド」(以下、マザーファンドといいます。)の受益証券への投資を通じ、原則として以下の方針に基づき運用を行います。</p> <p>1) 国内外の金融商品取引所に上場している投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。以下「上場投資信託証券」といいます。)への投資を通じ、主にアジア各国(日本を除く)の株式に分散投資を行います。</p> <p>2) 投資対象となる上場投資信託証券の国別投資比率および銘柄選定にあたっては、市場規模、市場動向ならびに成長性、収益性、流動性等を勘案して行います。</p> <p>②マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>④市場動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
主投資制限	<p>①マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②マザーファンドを通じて投資を行う上場投資信託証券への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>③マザーファンドを通じて投資を行う同一銘柄の上場投資信託証券への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の50%を超えないものとします。</p> <p>④外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p>
収益分配方針	<p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます)等の全額とします。</p> <p>②分配金額は委託者が基準価額等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は分配を行わないこともあります。</p>

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社  
 <コールセンター> ☎ 0120-781812  
 (土日、休日を除く) 携帯電話・PHSからは03-5524-8181  
 9:00~17:00

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

## 運用報告書(全体版)

# しんきん アジアETF株式ファンド

## 愛称：情熱アジア大陸

決算日

(第19期：2020年11月20日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきんアジアETF株式ファンド」(愛称：情熱アジア大陸)は2020年11月20日に第19期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

# 目 次

---

◇しんきんアジアETF株式ファンド	頁
最近5期の運用実績	1
当期中の基準価額と市況等の推移	1
第19期の運用経過等	2
1万口当たりの費用明細	5
売買及び取引の状況	7
利害関係人との取引状況等	7
第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況	7
自社による当ファンドの設定・解約状況	7
組入資産の明細	7
投資信託財産の構成	8
資産、負債、元本及び基準価額の状況	8
損益の状況	8
分配金のお知らせ	9
◇親投資信託の運用報告書	
しんきんアジアETF株式マザーファンド	10

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 込 配	み 金 期 騰	中 率 落		
	円		円	%	%	百万円
15期(2018年11月20日)	8,939		0	△10.0	95.8	1,676
16期(2019年5月20日)	9,060		0	1.4	96.1	1,699
17期(2019年11月20日)	9,462		0	4.4	96.9	1,754
18期(2020年5月20日)	7,925		0	△16.2	97.0	1,547
19期(2020年11月20日)	9,817		0	23.9	96.6	1,948

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、投資信託証券（上場投資信託）の組入比率は実質比率を記載しています。

(注3) 当ファンドは、上場投資信託を通じてアジア（日本を除く）の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。（以下同じ。）

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2020年5月20日	円		%	%
	7,925		—	97.0
5月末	7,915		△ 0.1	97.4
6月末	8,508		7.4	97.9
7月末	8,732		10.2	98.2
8月末	9,151		15.5	98.5
9月末	8,872		11.9	97.6
10月末	8,905		12.4	98.8
(期 末) 2020年11月20日	9,817		23.9	96.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、投資信託証券（上場投資信託）の組入比率は実質比率を記載しています。

## ○第19期の運用経過等（2020年5月21日～2020年11月20日）

### <当期中の基準価額等の推移>



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額は、期首(2020年5月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

### <基準価額の主な変動要因>

当ファンドは、親投資信託である「しんきんアジアETF株式マザーファンド」を通じて、高い成長が期待されるアジア(日本を除く)各国の株式を対象とする上場投資信託(ETF)へ投資を行っています。

当期は、組み入れたETFの値上りを主な要因に、基準価額は上昇しました。当期の基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

#### 基準価額の変動要因

第18期末基準価額			7,925円
要因	ETF	キャピタル	2,245円
		インカム	57円
	為替		△355円
	小計		1,947円
分配金			0円
その他変動要因(信託報酬含む)			△55円
第19期末基準価額			9,817円

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

※キャピタルとは市場変動等によるETF価格の上下動に伴う売買損益(評価損益を含む)、インカムとは配当等による収益です。

### <上昇要因>

- ・米国の大統領選挙でバイデン氏が当選を確実にしたことで米国政治の先行き不透明感が後退したこと。
- ・米国製薬大手ファイザーなどが開発する新型コロナウイルスのワクチンが高い有効性を示したこと。

## ＜下落要因＞

- ・中国政府が香港に対して「国家安全法」を採択したこと。
- ・欧米などにおいて新型コロナウイルスが感染再拡大したこと。

## ＜投資環境＞

### （株式市況：アジア圏）

当期のアジア株式市場は、全体として上昇しました。

2020年5月末にかけては、新型コロナウイルスの感染第2波への警戒感や、中国政府が採択した香港に対する「国家安全法」が香港の自治を損なうとの懸念などを背景に、軟調な動きとなりました。

6月以降は、世界的な経済活動再開に伴う景気回復期待や金融緩和などに支えられたこと、トランプ政権が新たに1兆ドル規模のインフラ整備計画を検討していると伝えられ、投資家心理が改善したことなどから、上昇しました。9月以降は、欧米などにおける新型コロナウイルスの感染再拡大や、11月3日の米国の大統領選挙に関する不透明感などを背景に、下落する局面もありましたが、バイデン氏が当選を確実にしたことや、米国政治の先行き不透明感が後退したことや、米国製薬大手ファイザーなどが開発する新型コロナウイルスのワクチンが高い有効性を示したことを受け、上昇基調が継続し、期を通じて上昇しました。

なお、期首から期末までの投資対象である11の国・地域別の株価の動きは、全ての国・地域において堅調となりました。

### （為替市況：アジア圏）

当期のアジア通貨の対円為替相場については、全体として上昇しました。

香港ドル、ベトナムドン、インドルピーなどは軟調だったものの、世界的な経済活動再開に伴う景気回復期待や金融緩和などに支えられたことなどから、期を通じては、総じてアジア通貨高円安方向に進みました。

## ＜当ファンドのポートフォリオ＞

親投資信託である「しんきんアジアETF株式マザーファンド」の受益証券への投資を行い、期を通じて、組入比率が高位となるように調整しています。

### ●しんきんアジアETF株式マザーファンド

中国、香港、台湾、インド、韓国、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピンおよびベトナムの11の国・地域へ投資しました。各国・地域への投資割合については、株式市場の規模などを考慮して、基準割合を決定しました。

当期における11の国・地域の基準割合については、中国13%、香港13%、台湾13%、インド13%、韓国13%、シンガポール7.5%、マレーシア6.5%、インドネシア6.5%、タイ7.5%、フィリピン4%およびベトナム3%としました。

これらの基準割合に基づき、月次で投資対象国・地域の景気、市場動向および政情などの観点からの分析による見直しを行い、それぞれの国・地域の株式組入比率を基準割合から±1%程度で調整しました。

当期における国・地域の主な比率調整では、期を通じて、ベトナムの組入比率を基準割合よりも高めに、香港の組入比率を基準割合よりも低めに推移させました。その他の地域の組入比率については、2020年8月にタイを引き上げ、フィリピンを引き下げ、2020年10月に中国を引き上げ、インドを引き下げるなどの調整を行いました。

## <当ファンドのベンチマークとの差異>

当ファンドは、E T F への投資を通じてアジア（日本を除く）の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## <分配金>

収益分配金については、経費控除後の配当等収益や売買益、基準価額水準等を勘案した結果、当期の分配を見送りました。なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用します。

## 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第19期
	2020年5月21日～ 2020年11月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	936

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <今後の運用方針>

主として、親投資信託である「しんきんアジアE T F 株式マザーファンド」の受益証券に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ●しんきんアジアE T F 株式マザーファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、E T F への投資を通じ、高い成長性が期待されているアジア主要市場の株式に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

また、E T F の組入比率は原則として高位を保つこととし、各E T F の組入比率などについて、調整および変更等が必要な場合は随時行っていきます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年5月21日～2020年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 51	% 0.582	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(19)	(0.222)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(29)	(0.333)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.048	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 4 )	(0.048)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 0 )	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	2	0.027	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 2 )	(0.027)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	57	0.658	
期中の平均基準価額は、8,680円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

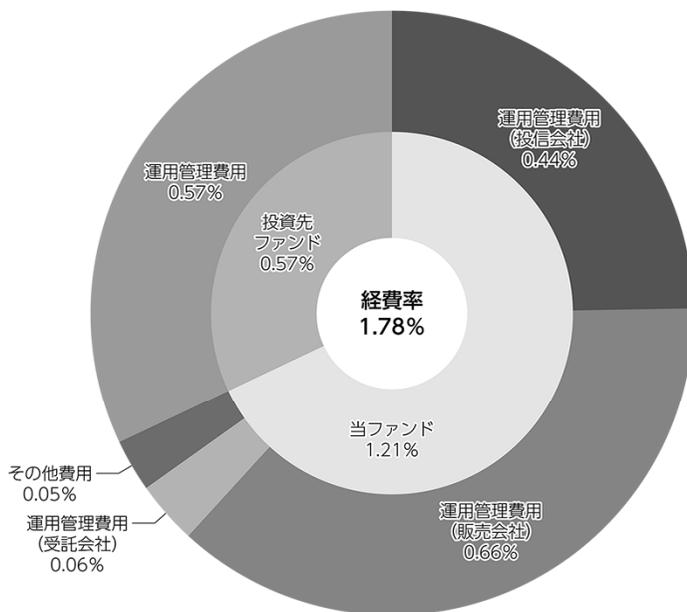
(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

## (参考情報)

### ○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.78%です。



(単位: %)

経費率(①+②)	1.78
①当ファンドの費用の比率	1.21
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年5月21日～2020年11月20日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
しんきんアジアETF株式マザーファンド	千口 31,686	千円 49,000	千口 15,212	千円 26,000

(注) 単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年5月21日～2020年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2020年5月21日～2020年11月20日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年5月21日～2020年11月20日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2020年11月20日現在)

### 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
しんきんアジアETF株式マザーファンド	千口 1,089,393	千口 1,105,867	千円 1,938,032

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2020年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきんアジアETF株式マザーファンド	1,938,032	98.3
コール・ローン等、その他	33,288	1.7
投資信託財産総額	1,971,320	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきんアジアETF株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,892,019千円)の投資信託財産総額(1,944,010千円)に対する比率は97.3%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2020年11月20日現在、1ドル=103.88円、1香港ドル=13.40円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年11月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,971,320,795
コール・ローン等	27,288,270
しんきんアジアETF株式マザーファンド(評価額)	1,938,032,525
未収入金	6,000,000
(B) 負債	23,215,360
未払解約金	12,935,915
未払信託報酬	10,279,330
未払利息	68
その他未払費用	47
(C) 純資産総額(A-B)	1,948,105,435
元本	1,984,365,559
次期繰越損益金	△ 36,260,124
(D) 受益権総口数	1,984,365,559口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,817円

(注1) 当ファンドの期首元本額は1,952,297,075円、期中追加設定元本額は102,857,254円、期中一部解約元本額は70,788,770円です。

(注2) 1口当たり純資産額は0.9817円です。

## ○損益の状況 (2020年5月21日～2020年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 7,491
支払利息	△ 7,491
(B) 有価証券売買損益	375,848,864
売買益	385,415,372
売買損	△ 9,566,508
(C) 信託報酬等	△ 10,280,721
(D) 当期損益金(A+B+C)	365,560,652
(E) 前期繰越損益金	△307,968,645
(F) 追加信託差損益金	△ 93,852,131
(配当等相当額)	( 87,250,403)
(売買損益相当額)	(△181,102,534)
(G) 計(D+E+F)	△ 36,260,124
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 36,260,124
追加信託差損益金	△ 93,852,131
(配当等相当額)	( 87,338,825)
(売買損益相当額)	(△181,190,956)
分配準備積立金	98,596,459
繰越損益金	△ 41,004,452

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(10,874,013円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(87,338,825円)および分配準備積立金(87,722,446円)より分配対象収益は185,935,284円(10,000口当たり936円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## ○分配金のお知らせ

---

1万口当たり分配金 (税込み)	0円
-----------------	----

# 運用報告書

## 親投資信託

# しんきんアジアETF株式マザーファンド

第10期

(決算日：2020年11月20日)

しんきんアジアETF株式マザーファンドの第10期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
主要投資対象	国内外の金融商品取引所に上場している投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。以下「上場投資信託証券」といいます。）を主要投資対象とします。
運用方針	①上場投資信託証券への投資を通じ、主にアジア各国（日本を除く）の株式に分散投資を行います。 ②投資対象となる上場投資信託証券の国別投資比率および銘柄選定にあたっては、市場規模、市場動向並びに成長性、収益性、流動性等を勘案して行います。 ③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ④市場動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
投資制限	①上場投資信託証券、短期社債等（社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）第66条第1号に規定する短期社債、同法第117条に規定する相互会社の社債、同法第118条に規定する特定社債および同法第120条に規定する特別法人債をいいます。）、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行いません。 ②上場投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の上場投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の50%を超えないものとします。 ④外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 中 率		投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
		騰	落		
	円		%		百万円
6期(2016年11月21日)	13,222	△	8.7	97.5	1,275
7期(2017年11月20日)	17,255		30.5	97.6	1,588
8期(2018年11月20日)	15,577	△	9.7	97.6	1,645
9期(2019年11月20日)	16,694		7.2	97.9	1,737
10期(2020年11月20日)	17,525		5.0	97.1	1,938

(注) 当ファンドは、上場投資信託を通じてアジア（日本を除く）の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは運動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。（以下同じ。）

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
		騰	落		
(期 首)	円		%		百万円
2019年11月20日	16,694		—		97.9
11月末	16,763		0.4		98.7
12月末	17,275		3.5		98.6
2020年1月末	16,464	△	1.4		98.3
2月末	15,810	△	5.3		98.0
3月末	12,816	△	23.2		97.5
4月末	13,966	△	16.3		96.6
5月末	14,027	△	16.0		98.7
6月末	15,106	△	9.5		98.8
7月末	15,522	△	7.0		99.0
8月末	16,288	△	2.4		99.2
9月末	15,804	△	5.3		98.3
10月末	15,879	△	4.9		99.3
(期 末)					
2020年11月20日	17,525		5.0		97.1

(注) 騰落率は期首比。

○第10期の運用経過等（2019年11月21日～2020年11月20日）

<当期中の基準価額等の推移>



当ファンドは、高い成長が期待されるアジア（日本を除く）各国の株式を対象とする上場投資信託（ETF）へ投資を行っています。

当期は、組み入れたETFの値上がりを主な要因に、基準価額は上昇して終わりました。当期の基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

<上昇要因>

- ・米中が第1段階の貿易合意に至り、米中貿易摩擦への警戒感が後退したこと。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大が鈍化し、欧米での経済活動の段階的な再開期待が高まったこと。
- ・米国の大統領選挙でバイデン氏が当選を確実にしたことで米国政治の先行き不透明感が後退したこと。
- ・米国製薬大手ファイザーなどが開発する新型コロナウイルスのワクチンが高い有効性を示したこと。

<下落要因>

- ・中国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルスが感染拡大したこと。
- ・石油輸出国機構（OPEC）と非加盟産油国が協調減産で折り合わず、原油価格が急落したこと。
- ・中国政府が香港に対して「国家安全法」を採択したこと。
- ・欧米などにおいて新型コロナウイルスが感染再拡大したこと。

<投資環境>

（株式市況：アジア圏）

当期のアジア株式市場は、全体として上昇しました。

2019年末にかけては、米中が第1段階の貿易合意に至り、米中貿易摩擦への警戒感が後退したことや、中国政府が預金準備率の引下げを続ける考えを示したことなどを背景に、上昇しました。

2020年1月以降は、米中が貿易協定の「第1段階」の合意文書に署名する一方、中国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルスが感染拡大し、3月には、OPECと非加盟産油国が協調減産で折り合わず、原油価格が急落したことも材料とし、大きく下落しました。4月以降は、米連邦準備制度理事会（FRB）の新たな巨額の資金供給策、世界的な経済活動再開に伴う景気回復期待や金融緩和などに支えられたことなどから、上昇

しました。9月以降は、欧米などにおける新型コロナウイルスの感染再拡大や、11月3日の米国の大統領選挙に関する不透明感などを背景に、下落する局面もありましたが、バイデン氏が当選を確実にしたことで米国政治の先行き不透明感が後退したことや、米国製薬大手ファイザーなどが開発する新型コロナウイルスのワクチンが高い有効性を示したことを受け、上昇基調が継続し、期を通じて上昇しました。

なお、期首から期末までの投資対象である11の国・地域別の株価の動きは、タイ、シンガポール、フィリピンなどが下落しましたが、総じて堅調となりました。

#### （為替市況：アジア圏）

当期のアジア通貨の対円為替相場については、全体として下落しました。

新型コロナウイルスの感染拡大を背景に世界経済の先行き懸念が広がる中、2020年3月には、投資家のリスク回避的な動きが急激に強まり、その後は世界的な経済活動再開に伴う景気回復期待や金融緩和などに支えられたことなどから底堅く推移しましたが、期を通じては、総じてアジア通貨安円高方向に進みました。

#### ＜当ファンドのポートフォリオ＞

中国、香港、台湾、インド、韓国、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピンおよびベトナムの11の国・地域へ投資しました。各国・地域への投資割合については、株式市場の規模などを考慮して、基準割合を決定しました。

当期における11の国・地域の基準割合については、期首はそれぞれ、中国13%、香港13%、台湾13%、インド13%、韓国13%、シンガポール7.5%、マレーシア6%、インドネシア7.5%、タイ7.5%、フィリピン4%およびベトナム2.5%としました。

2020年5月以降はそれぞれ、中国13%、香港13%、台湾13%、インド13%、韓国13%、シンガポール7.5%、マレーシア6.5%、インドネシア6.5%、タイ7.5%、フィリピン4%およびベトナム3%としました。

これらの基準割合に基づき、月次で投資対象国・地域の景気、市場動向および政情などの観点からの分析による見直しを行い、それぞれの国・地域の株式組入比率を基準割合から±1%程度で調整しました。

当期における国・地域の主な比率調整では、期を通じて、ベトナムの組入比率を基準割合よりも高めに推移させました。その他の地域の組入比率については、2019年12月にフィリピンを引き上げ、香港を引き下げ、2020年3月に韓国を引き上げ、中国を引き下げ、2020年5月に中国を引き上げ、タイを引き下げ、2020年8月にタイを引き上げ、フィリピンを引き下げ、2020年10月に中国を引き上げ、インドを引き下げるなどの調整を行いました。

#### ＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当ファンドは、ETFへの投資を通じてアジア（日本を除く）の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

#### ＜今後の運用方針＞

引き続き、運用の基本方針に従い、ETFへの投資を通じ、高い成長性が期待されているアジア主要市場の株式に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

また、ETFの組入比率は、原則として高位を保つこととし、各ETFの組入比率などについて、調整および変更等が必要な場合は随時行っていきます。

○1万口当たりの費用明細

(2019年11月21日～2020年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	円 15 (15)	% 0.094 (0.094)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 投 資 信 託 証 券 )	0 ( 0 )	0.003 (0.003)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	8 ( 8 ) ( 0 )	0.049 (0.049) (0.001)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	23	0.146	
期中の平均基準価額は、15,476円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2019年11月21日～2020年11月20日)

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	アメリカ		千ドル		千ドル
	iShares MSCI Indonesia ETF	33,000	525	26,500	484
	iShares MSCI Philippines ETF	9,000	257	5,300	147
	iShares MSCI Hong Kong ETF	21,500	460	14,000	306
	iShares MSCI Malaysia ETF	12,200	323	1,100	30
	iShares MSCI Singapore ETF	20,000	392	1,100	23
	iShares MSCI Taiwan ETF	15,900	672	13,900	566
	iShares MSCI South Korea ETF	6,500	369	5,900	388
	iShares MSCI India Index ETF	57,500	432	22,000	184
	Xtrackers MSCI Thailand UCITS ETF	—	—	5,300	111
国	Xtrackers MSCI India Swap UCITS ETF	—	—	23,400	261
	iShares MSCI Thailand ETF	11,300	800	4,200	283
	Xtrackers MSCI Taiwan UCITS ETF	—	—	10,800	424
	小 計	186,900	4,234	133,500	3,213
	香港		千香港ドル		千香港ドル
iShares Core CSI 300 ETF	107,000	3,006	50,000	1,336	
Xtrackers CSI300 Swap UCITS ETF	162,000	1,649	531,600	4,840	
Xtrackers FTSE Vietnam Swap UCITS ETF	5,700	1,158	—	—	
小 計	274,700	5,814	581,600	6,176	

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未满是切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月21日～2020年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年11月20日現在)

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千ドル	千円	%	
iShares MSCI Indonesia ETF	41,500	48,000	1,042	108,301	5.6	
iShares MSCI Philippines ETF	19,200	22,900	725	75,362	3.9	
iShares MSCI Hong Kong ETF	82,500	90,000	2,188	227,372	11.7	
iShares MSCI Malaysia ETF	31,200	42,300	1,164	120,926	6.2	
iShares MSCI Singapore ETF	46,700	65,600	1,384	143,854	7.4	
iShares MSCI Taiwan ETF	43,900	45,900	2,287	237,594	12.3	
iShares MSCI South Korea ETF	31,000	31,600	2,357	244,882	12.6	
iShares MSCI India Index ETF	203,500	239,000	2,217	230,397	11.9	
Xtrackers MSCI Thailand UCITS ETF	5,300	—	—	—	—	
Xtrackers MSCI India Swap UCITS ETF	23,400	—	—	—	—	
iShares MSCI Thailand ETF	11,200	18,300	1,336	138,887	7.2	
Xtrackers MSCI Indonesia Swap UCITS ETF	8,400	8,400	117	12,246	0.6	
Xtrackers MSCI Taiwan UCITS ETF	10,800	—	—	—	—	
小 計	口 数 ・ 金 額	558,600	612,000	14,823	1,539,824	
	銘 柄 数 < 比 率 >	13	10	—	< 79.5% >	
(香港)			千香港ドル			
iShares Core CSI 300 ETF	243,000	300,000	11,208	150,187	7.7	
Xtrackers CSI300 Swap UCITS ETF	1,132,200	762,600	8,518	114,144	5.9	
Xtrackers FTSE Vietnam Swap UCITS ETF	18,000	23,700	5,823	78,029	4.0	
小 計	口 数 ・ 金 額	1,393,200	1,086,300	25,549	342,361	
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	3	—	< 17.7% >	
合 計	口 数 ・ 金 額	1,951,800	1,698,300	—	1,882,186	
	銘 柄 数 < 比 率 >	16	13	—	< 97.1% >	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切り捨て。

＜組入上位ETFの保有銘柄の明細＞

※BlackRock Inc. 作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信(株)が作成しています。

**iShares MSCI Taiwan ETF**

組入上位10銘柄 (2020年8月末現在)

(組入銘柄数 89銘柄)

	銘柄名	比率 (%)
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO. LTD	22.9
2	HON HAI PRECISION INDUSTRY CO. LTD	4.6
3	MEDIA TEK INC	4.0
4	CHUNGHWA TELECOM CO. LTD	2.0
5	DELTA ELECTRONICS INC	1.9
6	LARGAN PRECISION CO. LTD	1.7
7	CTBC FINANCIAL HOLDING CO. LTD	1.7
8	CATHAY FINANCIAL HOLDING CO. LTD	1.6
9	UNI-PRESIDENT ENTERPRISES CORP	1.6
10	MEGA FINANCIAL HOLDING CO. LTD	1.6

**iShares MSCI South Korea ETF**

組入上位10銘柄 (2020年8月末現在)

(組入銘柄数 109銘柄)

	銘柄名	比率 (%)
1	SAMSUNG ELECTRONICS LTD	21.3
2	SK HYNIX INC	4.9
3	NAVER CORP	4.8
4	LG CHEM LTD	4.1
5	CELLTRION INC	3.4
6	HYUNDAI MOTOR CO	3.3
7	SAMSUNG SDI CO. LTD	3.1
8	KAKAO CORP	2.7
9	HYUNDAI MOBIS CO. LTD	1.9
10	NCSOFT CORP	1.8

**iShares MSCI India Index ETF**

組入上位10銘柄 (2019年12月末現在)

(組入銘柄数 84銘柄)

	銘柄名	比率 (%)
1	RELIANCE INDUSTRIES LTD	11.27
2	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE CORPORATION LTD	10.31
3	ICICI BANK LTD	6.72
4	INFOSYS LTD	6.50
5	TATA CONSULTANCY SERVICES LTD	5.07
6	AXIS BANK LTD	4.10
7	HINDUSTAN UNILEVER LTD	3.25
8	BHARTI AIRTEL LTD	2.44
9	ITC LTD	2.13
10	MARUTI SUZUKI INDIA LTD	2.03

※上記は、iShares MSCI India Index ETFが組み入れている「iShares MSCI INDIA MAURITIUS COMPANY」の組入上位銘柄です。

○投資信託財産の構成

(2020年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,882,186	96.8
コール・ローン等、その他	61,824	3.2
投資信託財産総額	1,944,010	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(1,892,019千円)の投資信託財産総額(1,944,010千円)に対する比率は97.3%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2020年11月20日現在、1ドル=103.88円、1香港ドル=13.40円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年11月20日現在)

○損益の状況 (2019年11月21日～2020年11月20日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,951,935,456
コール・ローン等	23,771,656
投資信託受益証券(評価額)	1,882,186,026
未収入金	44,136,752
未収配当金	1,841,022
(B) 負債	13,925,473
未払金	7,925,281
未払解約金	6,000,000
未払利息	130
その他未払費用	62
(C) 純資産総額(A-B)	1,938,009,983
元本	1,105,867,347
次期繰越損益金	832,142,636
(D) 受益権総口数	1,105,867,347口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,525円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	28,400,978
受取配当金	28,417,560
支払利息	△ 16,582
(B) 有価証券売買損益	75,610,455
売買益	214,304,646
売買損	△138,694,191
(C) 保管費用等	△ 829,754
(D) 当期損益金(A+B+C)	103,181,679
(E) 前期繰越損益金	696,734,844
(F) 追加信託差損益金	53,118,600
(G) 解約差損益金	△ 20,892,487
(H) 計(D+E+F+G)	832,142,636
次期繰越損益金(H)	832,142,636

(注1) 当親投資信託の期首元本額は1,040,793,460円、期中追加設定元本額は94,181,400円、期中一部解約元本額は29,107,513円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額は、しんきんアジアETF株式ファンド1,105,867,347円です。

(注3) 1口当たり純資産額は1.7525円です。

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。